

The 103rd All Japan Ski Championship Cross-Country

天皇杯 第103回全日本スキー選手権大会 開催要項

クロスカントリー競技（ディスタンス種目）

- 主 催 (公財)全日本スキー連盟
- 主 管 (公財)北海道スキー連盟・名寄地方スキー連盟・音威子府スキー協会
- 公 認 国際スキー連盟・(公財)全日本スキー連盟
- 後 援 北海道・北海道教育委員会・(公財)北海道スポーツ協会・音威子府村・音威子府村教育委員会
音威子府村体育協会・音威子府村商工会・音威子府村観光協会
- 支 援 陸上自衛隊名寄駐屯地
- 期 日 **令和7年3月12日(水)～16日(日)**
- 開 催 地 **北海道音威子府村 音威子府クロスカントリーコース**
- 競技種目 **男子 50km (C) Mass ・リレー4×10km (1・2走C/3・4走F) ・15km (F)**
女子 30km (C) Mass ・リレー3×5km (1走C/2・3走F) ・15km (F)
※ (C) =クラシカル (F) =フリー Mass =マススタート
- 競技日程及び会場

期 日	開始時間	種 目	会 場
3月12日(水)	11:00	組織委員会	音威子府公民館
	12:00	チームキャプテンミーティング	〃
3月13日(木)	9:30	女子30km (C) Mass	音威子府クロスカントリーコース
	12:00	男子50km (C) Mass	〃
3月14日(金)	9:00	コースオープン	音威子府公民館
	15:00	コースクローズ	
	15:00	チームキャプテンミーティング及びドロウ(16日分)	
3月15日(土)	9:30	女子リレー3×5km (1走C/2・3走F)	音威子府クロスカントリーコース
	11:30	男子リレー4×10km (1・2走C/3・4走F)	〃
3月16日(日)	9:30	女子15km (F)	音威子府クロスカントリーコース
	11:30	男子15km (F)	〃

※開会式は各種ウイルス感染拡大防止のため開催しない。

※13日及び15日のドロウについては、ジュリーにより事前ドロウを行う。

10. 競技規則 (公財)全日本スキー連盟競技規則最新版による。但し、年齢起算は令和7(2025)年1月1日現在とする。

11. 参加資格 別紙「第103回全日本スキー選手権大会(クロスカントリー種目)加盟団体出場枠」のとおり

12. 申込方法 (1)申込締切 **令和7年2月21日(金)必着**とする。

※各都道府県連・学連で取りまとめ申し込みのこと。(個人での申し込みは受け付けない)

※諸般の事情により遅れる場合は、必ず大会事務局へ連絡すること。

(2)申 込 先 〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子府444 音威子府村教育委員会内

第103回全日本スキー選手権大会事務局 (TEL: 01656-5-3356 FAX: 01656-5-3707)

(3) 申込用紙 SAJまたは音威子府村ホームページ掲載の用紙に限る。なお、申し込みの際は予選会のプログラム及び公式成績表を添付すること。また、学連で出場権を得た者は、各都道府県スキー連盟において重複の申し込みをしないこと。(付則第1条参照)

全日本スキー連盟: <http://www.ski-japan.or.jp>

音威子府村: <http://www.vill.otoineppu.hokkaido.jp>

※申込確認については、音威子府村ホームページで確認できます。

(4) 参加料 **個人(1種目) 7,000円**
リレー(1チーム) 女子 25,000円 男子 30,000円

※申し込みと同時に上記参加料を納入すること。なお、いかなる場合も返金はしない。

(5) 傷害保険 SAJスキー安全会及びスポーツ傷害保険又はこれに準ずる傷害保険に加入していない者は出場することができない。(本大会では新たな手続きは一切しない)

13. 抽 選 各種目とも上記9のとおりFISクロスカンントリーポイントリストNo.7で行う。

各チームの代表者1人(単独で出場する選手は本人)が必ず出席すること。

14. 表 彰 各種目とも1位～6位まで入賞者を表彰する。競技終了後に競技会場で行う。

15. そ の 他 (1) 競技に出場する選手は、SAJ会員登録及び競技者管理登録を完了していること。

(2) 気象条件や出場人数等によって、競技開始時刻及びコースを変更することもある。

(3) お知らせは、すべて村HP及び大会公式LINEよりご連絡いたしますので、必ずご登録をお願いいたします。

(4) 取得した個人情報については、大会運営に関わる業務以外には一切使用しない。

16. 問合せ先 第103回全日本スキー選手権大会事務局 (TEL: 01656-5-3356 FAX: 01656-5-3707)

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子府444 音威子府村教育委員会内

音威子府村ホームページ



大会公式LINE



17. スポーツ界における暴力行為根絶宣言

本連盟及び本競技会は「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」に賛同します。

<https://www.joc.or.jp/news/detail.html?id=2947>

<https://www.joc.or.jp/news/download.php?id=2947&fn=bouryokukonzetsusengen%28yoko%29.pdf>

18. 全日本スキー選手権開催規程

<http://www.ski-japan.or.jp/wp-content/uploads/310%E3%80%80%E5%85%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E9%81%B8%E6%89%8B%E6%A8%A9%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%80%80%E9%96%8B%E5%82%AC%E8%A6%8F%E7%A8%8B.pdf>

19. アンチ・ドーピング

(1) 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール(ドーピング検査対象)大会です。

(2) 本競技会参加者(未成年者を含む。以下同じ。)は、競技会にエントリーした時点でJADA規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。(未成年者の同意書については(4)を参照)

(3) アスリートには教育を受ける権利があります。

教育に関する国際基準において、ドーピング・コントロールの前に教育を受けることは原則として明記されています。以下

のサイト、教材においてアンチ・ドーピング教育とスポーツの価値教育を受けたうえで、アスリートは本競技会に参加して下さい。

https://www.realchampion.jp/who/national_outline/?utm_source=ski&utm_medium=youkou&utm_campaign=202312ski

- (4) 本競技会に参加する未成年の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。なお、親権者同意書フォームはJADAのウェブサイトよりダウンロードができます。

<https://www.playtruejapan.org/jada/ui8.html>

(シクミネットでの競技者登録時にアップロードした同意書でも代用を可とします。)

未成年の競技者はドーピング検査の対象となった際に、当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は未成年時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、既に提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

- (5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
- (6) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
- (7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については、JADAウェブサイトにて確認してください。

<https://www.playtruejapan.org/>

「全日本スキー選手権大会」の出場前にしておくべきアンチ・ドーピングルール

以下の行動を自信をもって行えますか？
ひとつでも「YES」と答えられないものがあつた場合は、
下記URLもしくはQRコードから教育特設ページを必ずご確認ください

1. 薬を使用する前に、Global DROで禁止物質を検索することができる
2. Global DROの結果や、専門家に相談した履歴を保管できる
3. TUEのルール、取得するための4つの条件を医師に説明できる
4. TUE申請書を不備なく準備し、適切な申請先に申請できる
5. ドーピング検査時の権利と責務を理解し、行動できる
6. サプリメントのリスクを正しく説明できる



禁止物質を検索
→確認→保管



TUEを
事前に申請



自信をもってドー
ピング検査に対応



サプリメント使用
のリスクを確認



「全日本スキー選手権大会」
教育特設ページ



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

